

経済経営学類

令和6年度 学校推薦型選抜 小論文

資料は、濱口桂一郎『ジョブ型雇用社会とは何か 正社員体制の矛盾と転機』（岩波新書，2021年）からの抜粋である。これを読んで、以下のすべての問題に答えなさい（原典中の一部と見出しを省略した）。

問題1 筆者は日本の企業の一般的な雇用の仕組みを「メンバーシップ型」、欧米のそれを「ジョブ型」と呼んでいる。筆者の言う2つの仕組みの特徴を対比し、500字以内で説明しなさい。

問題2 現在、日本でも「ジョブ型」を取り入れようとする企業が現れている。あなたは「メンバーシップ型」もしくは「ジョブ型」どちらの仕組みの中で働きたいと考えますか。500字以内で述べなさい。

- ・ 解答は横書きとする。
- ・ 句読点や空白も字数に含める。
- ・ 算用数字およびアルファベットは1マス2字とする。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

令和6年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

経済経営学類 学校推薦型選抜

資料は、濱口桂一郎『ジョブ型雇用社会とは何か 正社員体制の矛盾と転機』（岩波新書、2021年）である。

問題1では、資料の論旨を正確に読み取る理解力、それを整理する思考力、および文章化する表現力をみることを意図している。

問題2では、資料にある「メンバーシップ型」と「ジョブ型」の2つの雇用の仕組みの特徴を読み取る理解力と自分自身のキャリアの視点から考えを文章化する表現力をみることを意図している。

